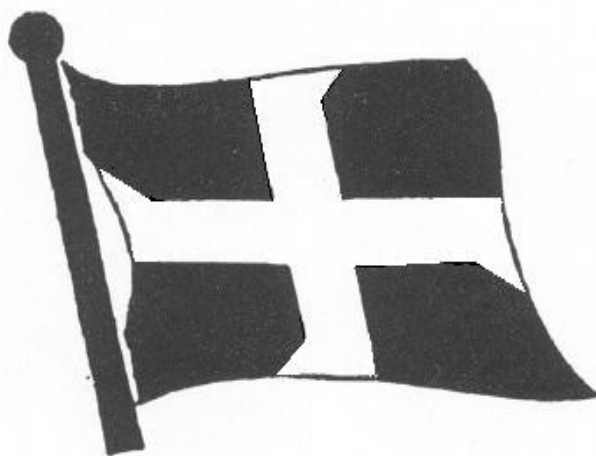


# 蒼穹NEWS

## No.5

### 東大戦展望号

平成26年9月29日発行



#### ～～～目次～～～

1. 主将・女子主将・監督挨拶
2. 東大戦競技日程
3. 東大戦展望
4. 近国の結果
5. 同志社戦の結果
6. 記録会の結果など

## 主将挨拶

10月4日、山城総合運動公園にて東大戦が開催されます。

七大戦は悔しくも開催されませんでした。関西インカレや伊勢予選での対校戦での強さをこのチームは着けました。最後の東大戦も必ず勝ちます。

今年の東大は例年の中では一番強いチームになっています。しかし、京大も先日の全日本インカレの活躍でもわかるようにものすごい力を着けてきました。

お互いにハイレベルな戦いをお見せできると思います。当日は全力を尽くし、必ず勝ちますので蒼穹会の皆様には是非とも競技場まで足を運んでいただきご声援のほどよろしくお願いたします。

京都大学陸上競技部主将 庄司 真

## 女子主将挨拶

本年度の東大戦は10月4日、山城総合運動公園にて行われます。女子は9連覇がかかっております。しかし今年例年以上に両校の実力が拮抗しており、事前予想ではわずかに負けている状況です。最後の最後までどちらが勝つか分からない戦いになると思われれます。そのため、専門種目以外でも練習を繰り返し、エントリーは直前まで熟考して、バランスよくメンバーを配置しました。また、補欠の選手もしっかり練習して万が一に備えております。全員が本番で持てる力を十分に発揮できるよう、日々着実に準備を進めていく所存です。

当日は連覇を意識して守りに入るのではなく、絶対に優勝を勝ち獲ってやるんだという強い気持ちを持ち、男女アベック優勝に向けて全員で果敢に攻めて参ります。蒼穹会の皆様にも、ぜひとも競技場へ足を運んで頂き、激励・ご声援のほどよろしくお願致します。

京都大学陸上競技部女子主将 宮崎 伶菜

## 監督挨拶

来る10月4日(土)、太陽が丘陸上競技場にて東大戦が開催されます。男子は5連覇、女子は9連覇を目標として戦います。男女とも、例年以上の大接戦が予想されます。

男子については、特に短距離、フィールドが混戦となります。今シーズン勢いに乗っている中距離、長距離陣は全種目スコルクを目標とし、短距離、フィールド陣は、それに負けじと気概を持って臨んで欲しいと思います。

女子には、男子以上に実力が均衡しています。100mや走幅跳ではエースのいる東京大学に分があります。そのため専門選手のない砲丸投げでスコルクをとること、800m、3000mで競り勝つことが勝利への必須条件となります。

夏の七大戦、同志社戦の中止は誠に残念な結果でした。しかし、その後のチームの成績をみると、良い仕上がりができていたと思われれます。本大会では、これまで燻っていた想いをすべてぶつけ、是非とも4回生には有終の美を飾って欲しいと思います。

蒼穹会の皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが是非とも会場までお越しいただき選手らに声援を送っていただきますと嬉しく思います。何卒よろしくお願申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 堀田 孝之

## ・東大戦競技日程

10月4日（土） 京都府立山城総合運動公園陸上競技場（太陽が丘）

### <トラックの部>

開始時刻	種別	種目
9:30	開会式	
10:00	男	対校
		OP
10:15	男	対校
		OP
10:45	女	対校
		OP
11:00	男	対校
		OP
11:20	男	対校
		OP
11:40	女	対校
		OP
12:05	男	対校
		OP
12:30	男	対校・OP
13:10	女	対校
		OP
13:25	男	対校
		OP
13:45	男	対校
		OP
14:15	男	対校
		OP
14:35	女	対校・OP
14:50	男	対校
		OP
15:50	女	OP
		対校
16:00	男	OP
		対校
16:30	閉会式	

### <フィールドの部>

跳躍種目			
開始時刻	種別	種目	種目
10:00	男	対校・OP	走高跳
11:15	男女	対校・OP	走幅跳
12:15	男	対校・OP	棒高跳
14:30	男	対校・OP	三段跳

投擲種目			
開始時刻	種別	種目	種目
10:00	男	対校・OP	ハンマー投
11:40	男	対校・OP	円盤投
13:40	男女	対校・OP	砲丸投
14:40	男	対校・OP	やり投
	女	OP	

## ・東大戦展望

### ～短距離～

#### 100m

石田真也 (3) 10” 59  
林大祐 (3) NR  
紀平直人 (2) 11” 11

例年以上に強力な東大の布陣に立ち向かうのは、石田・林・紀平の3人。石田は夏以降に主将として部を牽引し、様々な面で成長を見せている。実力的に見て勝つことが前提となるレースであるが、そのようなプレッシャーがかかるレースも今の彼なら心配いらぬであろう。大会記録も積極的に狙い、圧巻のレースを見せてほしい。林はスプリントの技術・フィジカルに関してかなりの素質を持っているが、これまでは怪我に泣かされあまり実績を残せていなかった。しかし今季中盤からベストの水準まで復調してきているので、東大勢とも互角の勝負ができるだろう。この機会を存分に活かし、できる限り上の順位を目指して活躍してきてほしい。紀平は七大戦前にアクシデントがあったがその後は順調に回復し、近国・同志社戦ではなかなかの結果を残している。バイタリティに溢れ爆発力のある選手なので、再び10秒台を出すにとどまらず、ランキングを盛大に覆すことが期待される。

#### 200m

石田真也 (3) 21” 57  
土屋佑太 (2) 22” 10  
山木田雅 (2) 22” 33

100m同様レベルの高い戦いが予想される200mでは、石田・土屋・山木田の精鋭3人で勝負を挑む。石田はこの種目も頭一つ抜けているため、確実な優勝が求められる。練習量が増えて距離に対する耐性も上がっているはずなので、この機会にベスト更新も視野に入れて積極的なレースをしてきてほしい。土屋はこの夏全カレの4継に出場し、中央大・猶木選手らと同区間を走るなどレベルの高い経験を積んでいる。実力的にも東大の1番手を捕える力はあるはずなので、ここは石田に勝負を仕掛ける勢いで頑張ってきてほしい。山木田は棒高跳に活動範囲を広げつつ、スプリントも怠ることなく取り組んできた。

現在は大学新を更新する水準に達していると思われるが、彼の実力はそんなものではない。対校戦という舞台で果敢に勝負を仕掛け、応援席を大いに魅了するレースをすることが期待される。



100 mと200 mに出場する石田。新主将としての活躍が期待される。

## 400m

庄司真 (4) 49"11  
櫻井大介 (3) 49"29  
土屋佑太 (2) 50"67

庄司、櫻井、土屋が出場する。庄司はケガの影響が懸念される。しかし、対校戦で安定した結果を残してきた実績があるので、きっとやってくれるだろう。櫻井は本職の800mで大きな結果を残している。48秒台にとどまらず、47秒を狙ってほしい。土屋は一本にまとめることができれば、優勝できる力がある。3人の相手は東大の小西になってくるが、ここでしっかり勝ってほしい。

## 110mH

戸川洋一 (4) 14" 85  
西田光治 (4) 15" 59  
佐藤優斗 (3) 15" 57

110mHには戸川、西田(光)、佐藤(優)の3人が出場する。戸川はこのところ16卒に向けた就職活動で思うように練習が積めていないが、8月の近国では向かい風の中、予選・決勝ともに14秒台をマークしており、十分優勝を狙える位置にあるだろう。西田(光)、佐藤(優)は東大の1番手、2番手との争いになると思われるが、焦ることなく自分のレースに集中することができれば、おのずと結果はついてくるはずである。是非ともこの種目はスコנקを果たしたい。

## 400mH

蔭山凌 (4) 53" 86  
佐藤優斗 (3) 54" 00  
新村航輝 (2) 54" 57

いま京大でもっとも勢いがある種目といっても過言ではないこの種目には蔭山、佐藤(優)、新村の3人が出場する。4回生の蔭山は現在東大戦で3連覇を果たしている。おそらくこれが人生最後の対校戦になると思われるので、ぜひとも優勝し、4連覇という形で有終の美を飾ってほしい。3回生の佐藤は110mHやマイルリレーにも出場するため多種目出場となるが、短距離パートチームの意地を見せ、去年の雪辱を果たしてほしい。2回生の新村は8月の同志社戦で大幅にベストを

更新した。この東大戦で53秒台をたたき出し、来年の関西インカレで戦うことをこの時期からイメージしながら臨んで欲しい。とにもかくにも110mHと同様、この種目もスコנקを果たし東大との格の違いを見せつける。

## 4×100mR

戸川洋一 (4)  
石田真也 (3)  
林大祐 (3)  
紀平直人 (2)  
土屋佑太 (2)  
備藤翼 (2)  
山木田雅 (2)

紀平-石田-林-山木田の走順で挑む。東大の戦力が充実していて苦戦を強いられる可能性があるが、こちらも精力的にバトン練を重ね、実力を磨いてきた。適材適所のオーダーも揃い、準備は万端である。紀平の爆発的スタート、石田-林の北野高校由来の巧みなバトン、そして山木田の名の通り雅やかなフィニッシュがしっかり揃えば、確実に優勝をものにできるだろう。

## 4×400mR

庄司真 (4)  
吉川慶 (4)  
辻智彦 (3)  
岡部龍樹 (2)  
紀平直人 (2)  
新村航輝 (2)  
土屋佑太 (2)  
(市川和也) (3)

見てください、このメンバー！精鋭揃いじゃないですか！しかも、ここに中距離のマッスルランナー、市川も加わる！調子次第で選びたい放題！なんと当日の勢いで決定できる！庄司は経験・実力ともにもっている！吉川の持久力は短長一だ！辻のレース展開力、勝負強さは観るものを虜にしますよ！岡部はマイルで結果を出した強みがある！紀平、土屋の絶対スピードを持つ走り、いや一期待できますね～！そして400mHで爆発的成長を遂げている新村がいますから！どうです、錚々たる顔ぶれでしょ！！！！これは優勝を獲るしかない！！！！！！

## 女子 100m

藤森光世 (3) 13" 69  
山中遥加 (2) 13" 67

女子 100m には藤森・山中が出場する。藤森はこの夏就活などで忙しいながらも練習をしっかり積み、次期女子主将としても頑張りを見せてきた。そして最近はかなりキレのある動きができてきている。東大の1番手は強いが何とか食らいつき、女子短距離のエースとして堂々としたレースをしてきてほしい。山中は100mから400mまでこなす選手としてやることが多い中、この夏もしっかり練習を積んできた。あとはレースでの思い切りの良ささえあれば好記録は簡単に出るはずなので、物怖じせず殻を破るレースが期待される。

## 女子 400m

山中遥加 (2) 1'02"62  
坂上小百合 (2) 1'03"07

女子 400m には山中、坂上が出場する。二人ともこの夏、しっかり練習が積めているので、成長した姿を見るのが楽しみだ。坂上は近国にて200mでベストを出し、勢いがある。山中は午前中に100mを走っているため体が動き、持ち前のスプリント力を生かしやすいと思う。実力を発揮できれば、東大の納、白形に勝てるので、油断なく臨んでほしい。仮に坪浦が出てきたとしても、三大戦を棄権したところを見ると、本調子ではないだろう。相手に臆せず攻めれば、勝利を掴めるはずだ。この種目、スコルクを達成してほしい。

## 女子 4×100m

中尾優里 (4)  
宮崎伶菜 (4)  
藤森光世 (3)  
金澤和寿美 (2)  
坂上小百合 (2)  
山中遥加 (2)

藤森-山中-宮崎-中尾の走順で出場する。七大戦前と同様に競技場練で試行錯誤を重ね、バトンパスの精度を高めつつある。目立って不調という選手もおらず良いレースが期待されるが、

東大もかなり強い戦力を揃えている。4回生を含めたこのメンバーで走る4継も最後かもしれないので、今まで培ってきたことを信じて、後悔の無いよう魂を込めたバトンを繋いできてほしい。

## ～中距離～

### 800m

中井一宏 (4) 1'54" 76  
櫻井大介 (3) 1'49" 65  
市川和也 (3) 1'54" 40

男子 800m には中井、櫻井、市川が出場する。中井は京大三番手であり、スコルクの要となる。頼もしい後輩二人を味方にして有終の美を飾る。櫻井は関西歴代の王者にして全カレ覇者。これ以上の説明は不要だろう。市川は己の肉体改造に勤しむだけでなく、走練習でも櫻井に次ぐ精度をみせる。この三人はどのような状況であっても、太陽ヶ丘を破壊する勢いで勝利を引き寄せるに違いない。



800 mに出場する櫻井。その強さは正に'最強'という言葉が相応しい。

## 1500m

平井健太郎 (3) 3' 53" 13  
岡野颯斗 (2) 3' 52" 73  
足立涼 (2) 3' 56" 44

男子 1500m には平井、岡野、足立が出場する。平井は 5000 m で学生日本人トップ、岡野は蒼穹歴代 2 位、足立は関西学生新人優勝などなど京大が誇る三人。この実績と記録をみれば、対校よりも校内での争いの方が熾烈をきわめることが陸上初心者でもわかるだろう。三つ巴の戦いといっても過言ではないので、割り切って校内戦としてみるのも一つの方法だろう。

## 女子 800m

熊澤真奈 (4) 2' 21" 78  
岸本絵里 (1) 2' 20" 85

女子 800m には熊澤、岸本が出場する。記録を見る限り両者とも東大の 2 番手に負けることはないだろう。ということは東大の 1 番手に二人で挑むということであり、圧倒的に有利である。二人とも元スプリンターということもあり、スピードには申し分ない。ド根性熊の熊澤と猪突猛進の岸本で、赤門を粉碎してきて欲しい。

## ～長距離～

## 5000m

下迫田啓太 (3) 14' 58" 78  
平井健太郎 (3) 14' 00" 92  
高石雅貴 (2) 15' 18" 10

男子 5000m は下迫田、平井、高石の三人が出場。下迫田は、合宿や遠征で不在の平井に代わり、走りの面と精神面の両面で長距離パートを引っ張ってきた。心身ともに充実し、練習も高いレベルで消化できている。14. 40 切り的大幅自己ベストで東大エースの渥美選手に先着したい。平井は実力的に飛び抜けており、優勝は間違いない。レースを支配して、下迫田・高石が走りやすい展開に持ち込めるか。高石は駅伝へ向け、チームの中心選手としての自覚が芽生えてきた。練習は順調にこなせているのでその成果を本番で出し切りたい。渥美とはやや力の差があるが、最後の最後まで 3 位を何う粘り強い走りに期待で

ある。



5000m に出場する平井。その走りは他の追隨を許さない。

## 女子 3000m

小堂夏希 (2) 10' 53" 47  
濱希望 (1) 10' 41" 53

女子 3000m は小堂と濱が出場する。小堂は 3000mSC や 5000m、そして先日の関西女子駅伝と積極的に長い距離に取り組んできた。チャンスに恵まれず持ちタイムこそ平凡であるが、コツコツと積み重ねた努力は間違いなく、10. 30 程度の力は十分にある。狙うのはもちろん初優勝である。濱は積極的なレース運びが持ち味の選手。本来は 1500m の選手であるが、スタミナも十分。彼女らしい積極的な走りでこちらも先輩を押しつけて、優勝を勝ち取りたい。大接戦が予想される対校の女子。なんとしてもワンツーを決めたい種目である。

## ～競歩～

### 5000mW

海老原 脩	(2)	22' 58" 50
大本 康平	(1)	21' 59" 94
山西 利和	(1)	21' 54" 50

全体の目標は山西が1位、海老原・大本が34位を獲り、東大戦中盤のこの種目で京大に追い風を吹かせることである。海老原は焦ると持ち味の丁寧さや粘りが崩れてしまうが、落ち着けば十二分に東大の二番手と競れる選手である。昨年の東大戦の時より二回りも強くなった海老原は、昨年の雪辱を果たすべく燃えている。対校戦初出場の本大は着々と記録をあげており、また崩れることが少ないのも強みである。二校対校独特の雰囲気をも味方にして、大幅な成長も期待できる。東大の二番手に勝ってこい。山西は日本インカレで8位に入賞し、巨星杉本の背中も取り取れていないが、これからの期間で調整して見えてきた。しかし東大生の一番手に油断はできない。挑戦する者としてではなく挑戦される者として、確実に1位を獲らねばならない試合で期待やプレッシャーを背負った上で勝ち切ることは次に繋がるはずである。

## ～跳躍～

### 走幅跳

石田 真也	(3)	6m97
山田 健太郎	(3)	6m61
松下 隼人	(2)	6m89

石田は夏に入ってから、跳躍の悪い癖の修正ができてきているようだ。東大の一番手はとても強いが、ぜひとも勝ち切ってほしい。山田は足首に不安があったものの、練習はできている。久々の自己ベストも見えており、思い切りのいい跳躍をしてほしい。松下は体調不良から復帰したばかりで体力的に厳しい面があると思うがここぞというところでの勝負強さに期待したい。

### 走高跳

扇澤 剛志	(4)	1m75
森田 悠也	(4)	1m75
竹田 風馬	(1)	1m85

扇澤はこの夏、技術的な面で大きく成長して

いるようである。深く考えすぎることなく自信を持って思い切った跳躍を見せてほしい。森田は多忙ななかでも、限られた時間の中で跳躍を作ることができているようだ。楽しみな存在である。竹田は先日の試合で1m80を跳んでおり、ようやく調子も戻りつつある。東大勢は非常に強いが、一角を崩せるような跳躍を期待する。

### 棒高跳

岡田 洋	(4)	4m20
田中 智章	(3)	2m80
山木田 雅	(2)	2m90

昨年のスコルク負けを一番悔やんでいるのは岡田だろう。今年は意地を見せて何としても大勝を阻止するだけでなく、東大勢の中に割って入ってほしい。田中は棒高跳の練習時間があましっかり記録を残したうえで果敢に挑んでほしい。山木田は短距離の選手ながら、今季から棒高跳にも取り組んでおり、急成長中である。まずは3mを跳び、更なる記録の更新に期待したい。

### 三段跳

日浦 幹	(4)	14m06
山岡 隆央	(3)	14m31
田中 智章	(3)	12m99

日浦は最近の練習量は少ないが、いいイメージを持って生活している。最高の跳躍をみせてほしい。山岡は練習での調子もよさそうであり、自己ベストも狙えるだろう。最初から攻めた跳躍を心掛けて記録を狙ってほしい。田中はケガの不安があったが、ここに来てしっかりと仕上げられており久々の13mも見えている。1点でも多く点を取ってほしい。

### 女子走幅跳

宮崎 伶菜	(4)	4m90
金澤 和寿美	(2)	5m05

宮崎は十分すぎるくらい練習できている。しっかりと走れてきているので、跳躍に乗せることができれば大ベストも出るだろう。女子主将として臨む最後の試合、期待が高まる。金澤



は、最近はあるような跳躍ができていないところであるものの今シーズン5mを跳んでおりきっかけをつかんで復活してほしい。宮崎とともに東大勢に食らいついてこの種目での勝ち越しを目指したい。



女子走幅跳に出場する宮崎。一年間女子部員を率いた力は伊達ではない。

## ～投擲～

### 砲丸投

戸川 洋一 (4) 10m69  
山本 裕太 (3) 11m26  
若園 直樹 (3) 10m00

男子砲丸投には戸川、山本、若園が出場する。東大の宮野が頭一つ抜けているが、その下は混戦模様。東大の2番手の選手に戸川と山本がしつかり勝ち切れるかどうか勝負のポイントとなるだろう。若園は砲丸投の対校戦は初めてであるが、持ち前の瞬発力を生かして、この種目の点数勝ち越しに貢献してほしい。

### 円盤投

西田 俊 (4) 25m81  
山本 裕太 (3) 30m68  
山下 圭二 (2) 32m29

男子円盤投には西田、山本、山下が出場する。この種目の一番手である山下はケガからの復帰戦として東大戦を迎える。山下が東大の1番手、2番手に勝って、京大の2,3番手の選手が東大の選手を最下位に抑えることが、この種目を制することの条件となるだろう。



投擲種目その全てに出場する山本。投擲パートチーフとして京大の勝利に貢献する。

### やり投

山本 裕太 (3) 54m59  
若園 直樹 (3) 52m44  
浅野 智司 (1) 38m43

男子やり投には山本、若園、浅野が出場する。山本と若園で優勝争いをして、両者ともに自己ベスト、あるいは関西インカレの標準等を狙っていききたい。浅野は、ベスト記録こそ低いものの、45m付近まで投げる力は十分に持っている。昨年に引き続き、今年もこの種目のスコルクを狙う。

## ハンマー投

若園 直樹 (3) 41m66  
林 大祐 (3) 34m25  
山本 裕太 (3) 29m53

男子ハンマー投には若園、林、山本が出場する。ベスト記録では若園が頭一つ抜けており、35m付近で大混戦。若園は焦ることなく、優勝&自己ベストを狙ってもらいたい。林は、トラック種目と兼ねることになるが、自分のペースでしっかり投げて、若園とワンツーを取って欲しい。

## 女子砲丸投

熊澤 真奈 (4) 7m42  
川崎 仁美 (1) 6m50

女子砲丸投には熊澤、川崎が出場する。両名とも、投擲専門ではないものの、これまでしっかりと練習を積めてきている。なので、臆することなく、しっかりと東大の選手と勝負して来て欲しい。そして、是非ともワンツーを取って、女子の総合優勝に貢献して欲しい。

# 第52回近畿地区国立大学体育大会陸上競技

(8/13 西京極)

## 男子総合成績

1位	大阪教育大	159点
2位	京都教育大	141.5点
3位	大阪大	132点
5位	京都大	58.5点

## 女子総合成績

1位	神戸大	174点
2位	京都教育大	171点
3位	大阪大	44点
6位	京都大	22点

### ▼100m

眞武 俊輔	予	10.91	-0.5
紀平 直人	予	11.11	+1.3
澤 薫	予	11.51	-0.8
眞武 俊輔	2位	10.81	-0.3

### ▼200m

佐藤 啓太	予	23.06	-0.2
桶成 智彦	予	23.09	-0.3 PB
柏本 知晟	予	23.28	-1.4

### ▼400m

加藤 陸至	予	53.09
天野 康平	予	56.24

### ▼800m

猪原 章	予	1.59.56
宿利 隆司	予	2.00.42
友田 浩平	予	2.02.67
宿利 隆司	5位	1.58.40
猪原 章	6位	2.00.51

### ▼1500m

久米 祐輔	予	4.05.92	PB
新田 一樹	予	4.13.65	
我妻 総	予	4.17.48	
久米 祐輔	決	4.14.86	

### ▼5000m

尾崎 拓	3位	15.13.65	PB
松葉 悠剛	7位	15.38.64	
岡野 椋介	決	15.49.91	

### ▼110mH

戸川 洋一	予	14.90	-0.3
西田 光治	予	15.68	-0.3
川本 雅人	予	16.62	+0.4
戸川 洋一	5位	14.99	-0.9

### ▼400mH

長崎 裕貴	予	55.66	PB
川崎 皓斗	予	60.15	PB
豊本 竜希	予	60.44	PB
長崎 裕貴	6位	56.40	

### ▼3000mSC

不破 佑太	優勝	9.32.80
山下 弘輝	決	10.23.55

### ▼スウェーデンリレー

柏本 知晟		
佐藤 啓太		
新村 航輝		
紀平 直人	5位	1.57.89

### ▼走高跳

田中 皓介	7位	1.80	PB
神野 洋介	決	1.65	

### ▼棒高跳

田中 皓介	4位	4.30
矢澤 学	決	NM
清水 宏幸	決	NM

▼走幅跳			
西村 優汰	4位	7.08	+2.1 公認6m98
澤 薫	決	6.29	+1.7
福島 快	決	5.97	+0.8 PB
▼三段跳			
戸川 洋一	決	12.76	+1.3
▼砲丸投			
戸川 洋一	決	9.92	
▼円盤投			
山本 裕太	決	30.68	PB
西田 峻	決	24.47	
▼ハンマー投			
若園 直樹	5位	41.19	
神野 洋介	決	NM	
▼やり投			
若園 直樹	8位	51.84	
神野 洋介	決	47.16	
浅野 智司	決	38.43	PB
▽100m			
藤森 光世	予	13.69	-0.5
金澤和寿美	予	13.72	-0.9
宮崎 伶菜	予	13.87	-0.9
▽200m			
坂上小百合	予	27.93	-0.7 PB
山中 遥加	予	28.19	-1.2
▽400m			
岸本 絵里	予	65.68	
▽800m			
熊澤 真奈	予	2.23.41	
濱 希望	予	2.26.48	
熊澤 真奈	7位	2.24.20	
▽1500m			
田中 友理	優勝	4.49.21	PB
小堂 夏希	8位	5.00.45	PB
▽100mH			
釜谷美翔子	予	16.52	-0.2
坂上小百合	予	17.77	-1.6
▽4×100mR			
金澤和寿美			
山中 遥加			
宮崎 伶菜			
藤森 光世	決	DSQ	
▽走幅跳			
金澤和寿美	8位	4.81	+3.0 公認4m76
宮崎 伶菜	決	4.73	+2.8 公認4m71
▽やり投			
宮崎 伶菜	7位	22.79	
山中 遥加	8位	9.64	

# 第84回同志社大学・京都大学対校陸上競技大会

(8/16 西京極)

本大会は大雨により中断となりました。したがって行われた競技（対抗の部）の結果のみを掲載します。

## ▼100m

石田 真也	優勝 10.59	+1.7 大会新
備藤 翼	4位 11.09	+1.7
紀平 直人	6位 11.24	+1.7

## ▼1500m

平井健太郎	優勝 3.53.13	PB 大会新
足立 涼	2位 3.56.44	
岡野 颯斗	3位 4.02.35	

## ▼400mH

広兼浩二郎	2位 54.14	PB
佐藤 優斗	3位 54.17	
新村 航輝	4位 54.57	PB

## ▼円盤投

山本 裕太	4位 30.35
若園 直樹	5位 30.08
西田 峻	6位 23.34

## ・記録会、オープン種目などの結果

(8/8～9/19)

### 平成26年度第一回学連競技会

(8/8～9 ヤンマーフィールド長居)

#### ▼100m

眞武 俊輔	10.82	+1.1
庄司 溪	11.11	+5.5 ♪
珍坂 涼太	11.89	+1.6 CB

#### ▼400m

坂口 雄太	54.22	♪
-------	-------	---

#### ▼800m

山崎 貴史	1.52.96
-------	---------

#### ▼1500m

橋本 浩法	4.33.15
-------	---------

### 七大戦OP(8/9 西京極)

#### ▼100m

眞武 俊輔	10.95	+0.2
鈴木 将太	11.56	+1.0
桶成 智彦	11.67	+2.8
川島 哲士	12.76	+2.2 ♪

#### ▼400m

永岡 源太郎	55.42	♪
川島 哲士	56.09	♪

#### ▼1500m

横山 裕樹	4.03.52	
久好 哲郎	4.03.73	
平井 幹	4.10.75	
不破 佑太	4.12.03	
中東 太一	4.15.61	
柴田 裕平	4.16.56	♪
渡邊 駿	4.18.95	
神埜 勝	4.26.98	
足立 大宜	4.32.73	♪
辻田 智宏	4.37.22	♪
川島 哲士	4.38.75	

▼5000m		
横山 裕樹	14.53.97	
平井 幹	15.18.01	
久好 哲郎	15.20.96	
辻田 智宏	15.45.92	CB
不破 佑太	15.53.16	
渡邊 駿	15.57.05	
中東 太一	16.01.25	
毛芝 雄己	16.44.83	
川島 哲士	17.08.09	

▼5000mW		
田中 雄也	22.53.49	CB
海老原 脩	23.04.36	PB
大本 康平	23.38.80	♪
村瀬 颯登	26.22.97	PB
大畑 耕治	27.34.77	
夫津木 廣大	DQ	

▼4×400mR		
堀田 孝之		
長谷川 聡		
宿利 隆司		
眞武 俊輔	3.32.34	

▼やり投		
浅野 智司	29.31	♪

▽1500m		
岩橋 優	4.37.83	
田中 友理	4.53.30	

同志社戦OP (8/16 西京極)

▼100m		
蔭山 凌	11.20	+1.5
佐藤 啓太	11.38	+1.5 PB
河野 慧	11.46	+1.8
松下 隼人	11.46	+1.5
柏本 知晟	11.53	+1.8
桶成 智彦	11.57	+1.8
神野 洋介	11.63	+1.5
谷野 太一	11.88	+1.8 ♪
栗田 京典	11.89	+1.8 PB
珍坂 涼太	11.97	+1.8
川本 雅人	12.02	+1.2
清水 良輔	12.09	+1.8
豊本 竜希	12.29	+1.8 PB
杉本 祥馬	12.97	+1.5 CB

▼1500m		
横山 裕樹	4.01.18	
久好 哲郎	4.08.21	
中東 太一	4.08.64	
寶 雄也	4.11.26	
柴田 裕平	4.13.42	
尾崎 拓	4.14.01	PB
平井 幹	4.14.46	
松葉 悠剛	4.15.35	
新田 一樹	4.16.57	
渡邊 駿	4.19.14	
足立 大宜	4.21.14	
稲垣 達也	4.21.59	
川島 哲士	4.24.34	
辻田 智宏	4.33.48	
森田 大地	4.37.33	
村瀬 颯登	4.47.30	

▼400mH		
長崎 裕貴	57.80	
川崎 皓斗	59.69	PB

天皇賜盃第83回

日本学生陸上競技対校選手権大会  
(9/5~7 熊谷スポーツ文化公園)

▼800m		
櫻井 大介	予 1.51.57	
	準 1.54.70	
	優勝 1.51.34	

▼10000m		
平井健太郎	2位 28.36.72	PB

蒼穹新 ①

▼10000mW		
山西 利和	8位 41.16.80	PB

▼4×100mR		
備藤 翼		
石田 真也		
土屋 佑太		
眞武 俊輔	予 40.96	
▽800m		
岩橋 優	予 2.18.98	
▽1500m		
岩橋 優	予 4.31.18	
	決 4.35.85	

第82回近畿陸上競技選手権大会兼第99回  
日本陸上競技選手権大会近畿地区予選  
(9/6～7 紀三井寺公園)

▼1500m

足立 涼 2位 3.56.80

岡野 颯斗 決 4.08.85

▼5000mW

海老原 脩 決 25.16.94

2014関西学生新人陸上競技選手権大会  
(9/11～12 ヤンマーフィールド長居)

▼100m

備藤 翼 予 11.15 +2.3

▼800m

見鳥 大樹 予 1.59.95 PB

永岡 源太郎 予 2.03.74 CB

▼1500m

足立 涼 予 3.59.96 大会新

足立 涼 優勝 3.58.46 大会新

▼400mH

新村 航輝 予 55.71

▼走高跳

竹田 風馬 決 1.80 CB

▼走幅跳

松下 隼人 決 6.46 +1.4

▽800m

岸本 絵里 予 2.23.62 CB

▽1500m

濱 希望 5位 4.58.72 CB

▽走幅跳

金澤和寿美 決 4.56 -0.8

▽三段跳

金澤和寿美 決 9.95 +2.7 公認9m63

第4回滋賀県高校記録会(9/13 彦根)

▼100m

吉川 慶 11.54 +2.0

▼400m

吉川 慶 51.74

▼5000mW

大本 康平 22.49.60 CB

海老原 脩 22.58.50 PB

田中 雄也 DSQ

夫津木 廣大 DSQ

▼走幅跳

澤 薫 6.17 +1.2

▼三段跳

澤 薫 12.64 +1.8

第一回関西学連長距離ナイター記録会  
(9/16 ヤンマーフィールド長居)

▼10000m

平井 幹 30.53.29

不破 佑太 32.07.80

寶 雄也 32.18.90 PB

久米 祐輔 32.32.52 PB

松葉 悠剛 32.50.15

毛芝 雄己 33.42.96

渡邊 駿 33.49.96

中東 太一 35.25.08

稲垣 達也 35.39.36

第5回大阪体育大学中長距離競技会  
(9/19 大体大)

▼800m

寶徳 真大 1.59.51

山下 哲広 2.01.95

猪原 章 2.02.17

▽800m

熊澤 真奈 2.25.53

秩父宮賜杯第54回

実業団・学生対校陸上競技大会  
(9/21 小田原市城山)

▼800m

櫻井 大介 優勝 1.49.14 PB

**蒼穹新** ①  
関西学生新

記号の見方

- |            |         |    |             |
|------------|---------|----|-------------|
| ▼          | : 男子種目  | ▽  | : 女子種目      |
| 予          | : 予選    | 準  | : 準決勝       |
| 順位         | : 決勝順位  | Ⅱ  | : 2次レース     |
| PB         | : 自己新記録 | CB | : 大学での自己新記録 |
| ♪          | : デビュー戦 |    |             |
| <b>蒼穹新</b> | : 蒼穹新記録 |    |             |
| ○          | : 蒼穹ランク |    |             |
- (記録を出した時点、20位まで)



---

蒼穹ニュース 平成26年度 第5号  
平成26年9月29日発行

---

発行所：京都大学体育会陸上競技部  
編集者：足立涼・小野坂健・我妻聡（副務）  
特別協力：阿邊啓明・宮垣寛之（学連員）  
長崎裕貴（記録係）・佐藤啓太（HP係）  
写真担当：金澤和寿美・見鳥大樹・福島快

---

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/>  
陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.htm>  
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>  
メールアドレス [s.wagatsuma2014fkm@gmail.com](mailto:s.wagatsuma2014fkm@gmail.com)（我妻）